

報道関係者各位

「赤ちゃんにやさしい未来」の実現のために、出産・育児に関する「早期教育」を
子どもたちの意識改革を起こし、社会における育児への理解を深める教育プログラム
「赤ちゃんを知る授業」を今年度も開始
これまでに全国の約 370 校、約 31,000 名の生徒に提供

ピジョン株式会社（本社：東京、社長：北澤 憲政）は、「赤ちゃんにやさしい未来」を実現するために社会全体で育児を考え、赤ちゃんにやさしい行動につなげる取り組みとして、日本全国の中学生を対象とした「赤ちゃんを知る授業—赤ちゃんにやさしい未来のために—（以下略：赤ちゃんを知る授業）」を 2021 年 9 月より実施しています。受講した生徒からの満足度は高く、毎年度多くのご応募をいただき、2024 年 3 月までで合計約 370 校、約 31,000 名の生徒に授業を提供いたしました。今月より 2024 年度の授業を開始し、年度内で約 150 校での実施を予定しております。



■ 出産・育児に関する「早期教育」こそが、「赤ちゃんにやさしい未来」の実現には不可欠

いま多くのママ・パパが出産・育児のし辛さを感じており、その大きな要因の 1 つは「育児に対する周囲の理解不足」であると考えます^{※1}。こども家庭庁の調査^{※2}でも、「働いているとき」、「公共交通機関を使ったとき」、「スーパーやショッピングモール、お店に行ったとき」など、さまざまな場面で育児における不便を感じたり、周りからの理解や配慮が欲しかったと回答されています。

また、厚生労働省^{※3}によると、日本における 2023 年の出生数は 758,631 人で過去最少となり 8 年連続で減少しています。国立社会保障・人口問題研究所^{※4}の調査においては、一人っ子の割合も増加し続け約 2 割を占めており、赤ちゃんや子育て中のママ・パパが身近にいない環境下で大人になる子どもが増えています。

この状況をうけ、当社は、子どもたちへの「早期教育」こそが「育児に対する周囲の理解不足」の解決につながると考え、赤ちゃんについて学び、興味・関心を持ち、自分にできることを考え行動につなげる機会を提供するべく、中学生を対象とした「赤ちゃんを知る授業」を 2021 年から実施しています。この取り組みを通じて、中学生による赤ちゃんへのやさしい行動を促すとともに、将来に自身や周囲が出産・育児をする際の意識や行動へとつなげることで、「赤ちゃんにやさしい未来」への道を拓いてまいります。

※1) たまひよ妊娠・出産白書 2023 ※2) こども・子育てにやさしい社会づくりのためのニーズ調査（2023 年 6 月～7 月） ※3) 人口動態統計速報（令和 5 年 12 月分） ※4) 第 16 回（2021 年）出生動向基本調査

■ 子どもたちの変化への確かな手応えと共に、2024年度の「赤ちゃんを知る授業」を開始

ピジョンの「赤ちゃんを知る授業」では、先生方が授業を実施するための教材を日本全国の中学校に無料で提供し、一部の学校には出前授業としてピジョンの社員が学校に赴き授業を行っています。毎年度多くのご応募をいただき、取り組みを開始した2021年9月から2024年3月までで合計約370校、約31,000名（うち出前授業は8校）の生徒に授業を提供いたしました。2024年度は約150校での実施を予定しております。

<「赤ちゃんを知る授業」の実施実績>

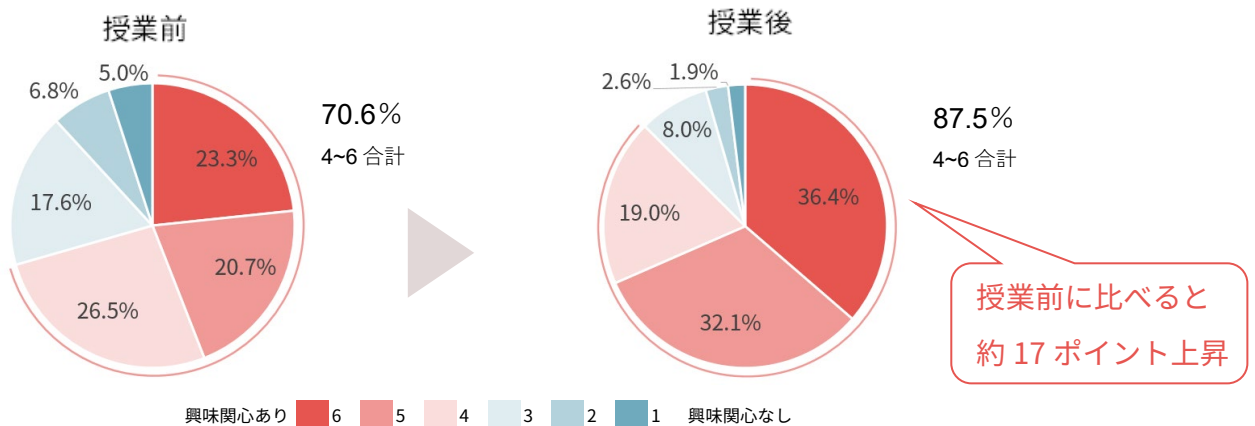
2021年度（2021年9月～2022年3月）	69校（うち出前授業 ※オンライン：1校）、6,616名
2022年度（2022年4月～2023年3月）	159校（うち出前授業：4校）、13,384名
2023年度（2023年4月～2024年3月）	145校（うち出前授業：3校）、11,348名

※2024年3月末確認できた数値のみ

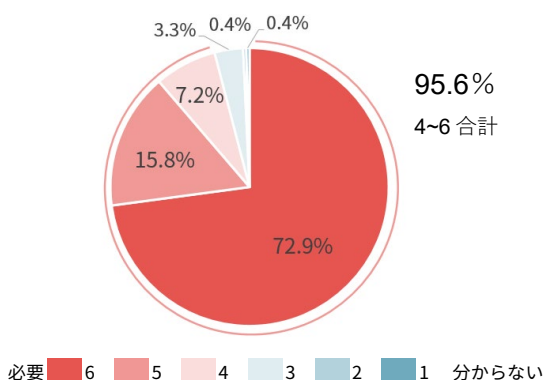
生徒へのアンケートでは、赤ちゃんに対する興味・関心があると答えた生徒の割合を授業の前と授業の後で比較すると約17ポイント上昇し、授業を受けたほぼすべて（95.6%）の生徒が、赤ちゃんを育てるためには周りの人の協力が必要だと認識したことが分かりました。また、「赤ちゃんを見かけたときに、あなたが赤ちゃんにできることがあると思いませんか？」という問いに対しては、多数（90.1%）の生徒が自分にもできることがあると答え、生徒自身にもできる手助けがあると知るきっかけづくりになったことが分かりました。

生徒からは「子育ては大変だと改めて思った。私たちにも助けられる場面があると分かった。」「この授業のことを活かしながら妊婦さんや子ども連れの方に接していきたい。」「自分に子どもが生まれたら、奥さんを手伝ってあげる。」「赤ちゃんのいのちは尊い。妊婦さんは頑張っている。」といった声が聞かれるなど、子どもたちが赤ちゃんの特徴やママ・パパたちの悩みを理解し、自身にできる手助けを考えるきっかけづくりに貢献しております。

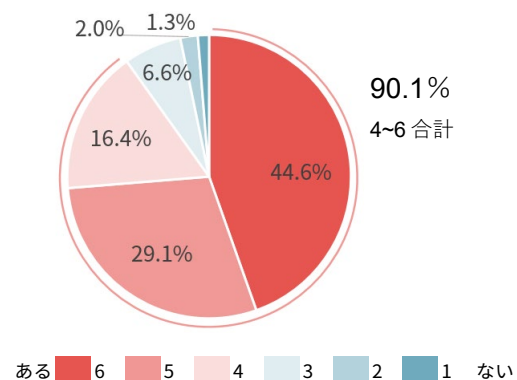
Q:「赤ちゃん」に対する興味・関心の度合い



Q: 赤ちゃんを育てるためには、周りの人の協力が必要だと思いませんか？



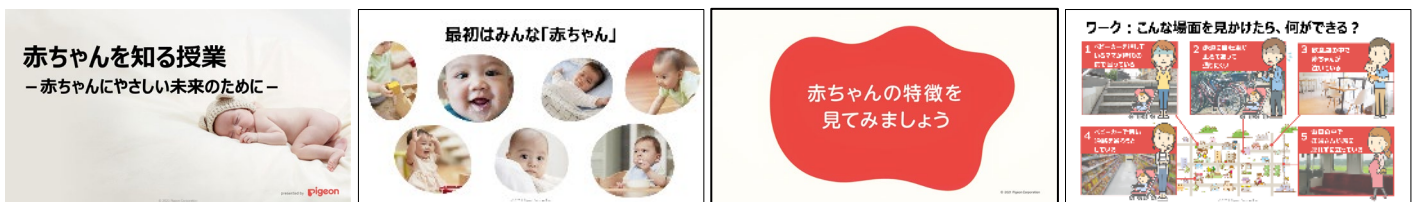
Q: 赤ちゃんを見かけたときに、あなたが赤ちゃんにできることがあると思いませんか？



■「赤ちゃんを知る授業」の主な内容

- **赤ちゃんだった頃を振り返る**：赤ちゃんだった頃の印象的な出来事やエピソードを思い返し、かつては生徒自身も赤ちゃんだったことを改めて認識する。
- **赤ちゃんが生まれるということ**：赤ちゃんは、様々な状態や環境で生まれてくるが、みんなかけがえない存在であること、たくさんの人たちに支えられて成長することを知る。
- **赤ちゃんの行動について、その意味や特徴を理解する**：赤ちゃんはなぜ泣くのか？なぜよく寝るのか？など、その行動について特徴や意味を理解し、赤ちゃんとのコミュニケーションに不可欠な知識を身につける。
- **今、自分にできることを考える**：一過性の授業で終わらせるのではなく、社会の一員として、生徒が主体的にできることを考え行動に移すきっかけを与える。

<授業テキスト（抜粋）>



■ピジョン株式会社

ピジョンは、育児用品をはじめ、マタニティ用品・介護用品・保育サービスなどを手掛けるブランドです。設立以来 60 年以上に渡る研究に基づき、製品やサービスを提供することによって、この世界をもっと赤ちゃんにやさしい場所にしたいと考えています。ピジョンは、赤ちゃんが生まれながらに持つ素晴らしい力を育み、すべての赤ちゃんがありのままに輝ける世界の創造を目指していきます。

本件に関する報道関係の方からの問い合わせ先

・ Pigeon Baby Friendly Future PR 事務局（ブルーカレント・ジャパン） 小林、三岩

Email: pigeon-pr@bluecurrentgroup.com

本件に関する学校・教育関係者の方からの問い合わせ先

株式会社 ARROWS 『SENSEI よのなか学運営事務局』

【電話】 0120-568-317（受付：平日 10:00-17:00）

【Mail】 sensei.yononakagaku@senseinote.com

【出前授業の実施風景】

一部の中学校では、ピジョン社員が出向き、赤ちゃん人形の抱っこ体験、妊婦ジャケットを装着しての妊婦体験、ベビーカーの走行体験などを行い、赤ちゃんご家族についてより深い学びの機会を提供しています。

